



甲信越の景況は、輸出が弱含んだものの、個人消費、設備投資が持ち直すなど、緩やかな持ち直し。

個人消費は、衣料品を中心に大型小売店販売が減少したものの、乗用車販売が増加するなど、緩やかな持ち直しの動き。住宅建築は、分譲住宅が減少したものの、持家、貸家が増加するなど、足許増加。設備投資は、製造業で工場新設投資や情報化投資、非製造業で情報化・省力化・合理化投資がみられるなど、持ち直し。公共工事は、国、独立行政法人等が減少したものの、県、市町村が増加するなど、概ね横這い。輸出は、輸送用機器、有機化合物が減少するなど、弱含み。

生産活動は、パルプ・紙・紙加工品、情報通信機械が減少したものの、一般機械、電気機械が増加するなど、持ち直しの動き。観光は、入込客や宿泊客が増加するなど、上向き。雇用は、製造業を中心に新規求人数が増加し、有効求人倍率が高水準を維持するなど、改善傾向。

先行きは、緩やかな持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢